

区分	No.	作業名	手作業の場合	システム運用の場合	システムの導入効果
投稿者	①	論文投稿申込	投稿者が、郵送又はメールにより論文投稿申込をする必要があります。	投稿者が、ホームページの画面から論文投稿の申込ができます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化
	②	論文投稿申込通知	—	投稿者が、ホームページの画面から論文投稿の申込をすると、事務局へ「投稿申込」の旨のメールが自動的に送られます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化 顧客管理の実現
	③	論文投稿申込受付通知	事務局が、電話又はメールにより投稿者へ「投稿申込受付」の旨を連絡する必要があります。	投稿者が、ホームページの画面から論文投稿の申込をすると、投稿者へ「投稿申込受付」の旨のメールが自動的に送られます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化
	④	論文投稿申込状況照会	投稿者が、電話又はメールにより事務局へ申込受付状況を照会する必要があります。	投稿者が、ホームページの画面から論文投稿申込受付状況を照会できます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化 顧客管理の実現
	⑤	論文投稿依頼	事務局が、郵送又はメールにより投稿者へ論文投稿を依頼する必要があります。	事務局が、ホームページの画面から論文投稿の依頼をすると、投稿者へ「投稿依頼」の旨のメールが自動的に送られます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化 顧客管理の実現
	⑥	論文投稿	投稿者が、郵送又はメールにより論文投稿する必要があります。	投稿者が、ホームページの画面から論文投稿できます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化
	⑦	論文投稿受付通知	事務局が、電話又はメールにより投稿者へ「投稿受付」の旨を連絡する必要があります。	投稿者が、ホームページの画面から論文投稿すると、投稿者へ「投稿受付」の旨のメールが自動的に送られます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化
	⑱	審査結果通知	編集委員会が、郵送又はメールにより投稿者へ「審査結果通知」の旨を連絡する必要があります。	編集委員会が、ホームページの画面から審査結果の入力をする、投稿者へ「審査結果通知」の旨のメールが自動的に送られます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化
	⑳	投稿論文審査結果照会	投稿者が、郵送又はメールにより編集委員会へ審査結果を照会する必要があります。	投稿者が、ホームページの画面から審査結果を照会できます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化
	事務局	②	論文投稿申込通知	—	投稿者が、ホームページの画面から論文投稿の申込をすると、事務局へ「投稿申込」の旨のメールが自動的に送られます。
③		論文投稿申込受付通知	事務局が、電話又はメールにより投稿者へ「投稿申込受付」の旨を連絡する必要があります。	投稿者が、ホームページの画面から論文投稿の申込をすると、投稿者へ「投稿申込受付」の旨のメールが自動的に送られます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化
④		論文投稿申込状況照会	事務局が、電話又はメールにより投稿者へ申込受付状況を照会する必要があります。	事務局が、ホームページの画面から論文投稿申込受付状況を照会できます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化 顧客管理の実現
⑤		論文投稿依頼	事務局が、郵送又はメールにより投稿者へ論文投稿を依頼する必要があります。	事務局が、ホームページの画面から論文投稿の依頼をすると、投稿者へ「投稿依頼」の旨のメールが自動的に送られます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化 顧客管理の実現
⑦		論文投稿受付通知	事務局が、電話又はメールにより投稿者へ「投稿受付」の旨を連絡する必要があります。	投稿者が、ホームページの画面から論文投稿すると、事務局へ「投稿受付」の旨のメールが自動的に送られます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化
⑧		論文投稿状況照会	事務局が、投稿者が郵送又はメールにより投稿した論文の状況照会をする必要があります。	事務局が、ホームページの画面から論文投稿状況を照会できます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化 顧客管理の実現
⑨		編集委員選定	事務局が、郵送又はメールにより選定した編集委員へ「外部査読者選定依頼」の旨を連絡する必要があります。	事務局が、ホームページの画面から編集委員選定をすると、選定した編集委員へ「外部査読者選定依頼」の旨のメールが自動的に送られます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化 顧客管理の実現

区分	No.	作業名	手作業の場合	システム運用の場合	システムの導入効果
編集委員	⑩	外部査読者選定	編集委員が、別途作成された「登録された査読者」リストから外部査読者を選定することが必要です。その際、他の編集委員や外部査読者との重複、担当論文数の制限をチェックする必要があります。	編集委員が、ホームページの画面で、投稿論文の外部査読者を「登録された査読者」から選定することができます。その際、他の編集委員や外部査読者との重複、担当論文数の制限をチェックできます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化 顧客管理の実現
	⑪	査読依頼	編集委員が、郵送又はメールにより外部査読者へ査読依頼する必要があります。	編集委員が、ホームページの画面から外部査読者を選定すると、その外部査読者へ「査読依頼」の旨のメールが自動的に送られます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化 顧客管理の実現
	⑭	外部査読者諾否通知	—	外部査読者が、ホームページの画面から諾否を回答すると、編集委員へ「諾否回答」の旨のメールが自動的に送られます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化 顧客管理の実現
	⑮	外部査読者諾否状況照会	編集委員が、電話又はメールにより外部査読者へ査読諾否の回答状況を照会する必要があります。	編集委員が、ホームページの画面から外部査読者の査読諾否の回答状況を照会できます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化 顧客管理の実現
	⑰	査読結果入力状況照会	編集委員が、電話又はメールにより外部査読者へ査読結果入力状況を照会する必要があります。	編集委員が、ホームページの画面から外部査読者の査読結果入力状況を照会することができます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化 顧客管理の実現
	⑱	編集委員会審査結果入力	編集委員会が、定められた記録簿に審査結果を入力する必要があります。	編集委員会が、ホームページの画面から審査結果を入力することができます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化 顧客管理の実現
	⑲	審査結果通知	編集委員会が、郵送又はメールにより投稿者へ「審査結果通知」の旨を連絡する必要があります。	編集委員会が、ホームページの画面から審査結果の入力をすると、投稿者へ「審査結果通知」の旨のメールが自動的に送られます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化
外部査読者	⑫	査読依頼投稿論文照会	編集委員が、郵送又はメールにより外部査読者へ投稿論文を送ることが必要で、その後、外部査読者が閲覧します。	外部査読者が、ホームページの画面から投稿論文を閲覧できます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化 顧客管理の実現
	⑬	査読諾否回答	外部査読者が、郵送又はメールにより編集委員へ査読諾否を回答する必要があります。	外部査読者が、ホームページの画面から査読諾否を回答することができます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化 顧客管理の実現
	⑭	外部査読者諾否通知	—	外部査読者が、ホームページの画面から諾否を回答すると、編集委員へ「諾否回答」の旨のメールが自動的に送られます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化 顧客管理の実現
	⑯	査読結果入力	外部査読者が、郵送又はメールにより編集委員へ査読結果を連絡する必要があります。	外部査読者が、ホームページの画面から査読結果を入力すると、編集委員へ「査読結果入力」の旨のメールが自動的に送られます。	顧客・取引先の利便性向上 業務プロセスの効率化 顧客管理の実現

注:論文投稿・査読の手作業運用では、投稿者、事務局、編集委員(会)、外部査読者間で、1回の論文投稿につき少なくとも14回の郵送、メール又は電話による手作業連絡が必要です。他方、電子論文投稿・査読システム(オンプレミス版)では一見全体フロー図は複雑に見えますが、システム機能により、すべてホームページ上の作業で自動メール送信が行われ、導入効果が発揮されます。